

コミュニティ・スクール

2020年度01号 2021年3月 / 発行：井荻小学校 学校運営協議会

井荻小学校 学校運営協議会

 学校・家庭・地域一体の
「チーム井荻」へ
コミュニティ・
スクールとして
 始動から
2年が
経ちました。

「コミュニティ・スクール (Community School) とは？」

学校運営協議会制度を導入している学校です。

保護者や地域のみなさんが共に知恵を出し合い、学校運営に参加することができる「学校運営協議会」が設けられます。これまでの学校評議員会制度等の地域に開かれた学校づくりの取り組みをさらに進め、継続的、持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

地域とともにある学校～それは三輪車「チーム井荻」の如く

12月に初めて学校運営協議会のアンケート調査を実施させていただきました。多数の保護者の方々にご回答を頂き感謝申し上げます。結果は次頁で報告いたします。この資料は次年度以降の活動にしっかり活かして参ります。

さて、設問の中に学校運営協議会が議題としている内容から重要と思われる項目を3つ選んで回答していただくものがありました。その結果、最も多かったのは「学級経営や生活指導、各学級の児童の様子について」、次に「学校施設や設備の整備状況や安全点検について」、さらに「教育目標を達成するための具体的な指導内容や組織運営について」ということが選択されました。

この期待や願いに応える学校は、学校と家庭、地域が三輪車の如く三者一体になって「チーム井荻」で進んでいくことで創られると思います。子供たちの豊かな人間性と確かな学力を育む目標に向かって力強く進める前輪は「学校」、そしてそれを押し支える2つの後輪が、子供の心身の成長を育む生活基盤の「家庭」と人や自然とのふれあいや社会の学びの場の「地域」です。

その三輪車の座席に乗るのは主人公の子供です。3つのタイヤの大きさが一つでも違えば、よろけ前に進みません。3つのタイヤが大きく太ければ、子供たちは安心して安定して学んでいきます。

子供は、未来の宝です。新型コロナウイルス禍にあって、新しい発想が必要な場面や新しい教育方法にチャレンジしていく必要が益々多くなります。地域運営学校の井荻小学校は「社会全体で子供を育てる」という意識で、学校・家庭・地域一体になった三輪車「チーム井荻」になるよう取り組んでいきます。そして今年の創立70周年記念の時に刻んでいきたいと思っています。

井荻小地域運営学校（学校運営協議会制度を導入している学校。コミュニティ・スクール、略してCSと呼ばれることもあります。）としての2年目は、新型コロナウイルスへの対応に始まり、そして終わろうとしています。「予測不可能な社会」という言葉は以前から様々な場面で遣われてきましたが、入学式終了翌日から休校措置とは、まさに「予測できなかったこの一年」というのが正直な感想です。

学校再開後も、日々社会の状況を見ながら、子供たちの学校生活が少しでも彩に満ちたものになるように、職員一同工夫と努力をしてきたことは自負するところではありますが、それを支え励ましてくださった地域、保護者の皆様、そして学校運営協議会の存在は大変心強い存在でした。そこには、「どちらかがどちらかをリードする。」というのではなく、まさに「共に歩む。」という温かさがありました。ありがとうございます。

今年度、井荻小コミュニティ・スクールとして、初めてのアンケート調査を実施いたしました。（実施に辺り、少し調べてみましたが、杉並区の小学校で、独自の地域運営学校アンケートを実施している学校はほとんどありませんでした。）結果を受けとめ、地域運営学校としての歩みを着実に進めていく覚悟です。今後ともよろしく願いをいたします。


 学校運営協議会会長
東海林 孝吉

 井荻小学校校長
小澤 伸生

2020年度活動報告

【2020年】

第1回学校運営協議会 4月20日(月)

「コロナウイルス感染症の緊急事態宣言」を受け中止

第2回学校運営協議会 5月26日(火)

- 今後の学校の予定について
- 学校運営協議会の今後の予定について
- 学校支援本部の今後の予定について
- 学校運営協議会委員について

第3回学校運営協議会 6月23日(火)

- 今年度の教育活動について
- 学校運営協議会の開催日、年間計画および組織について
- 授業参観後の感想・意見交換

第4回学校運営協議会 7月20日(月)

- いじめ対策と生活指導の課題について
- 学校予算や施設設備の整備状況について

第5回学校運営協議会 8月21日(金)

- 教職員との懇談会

第6回学校運営協議会 9月16日(水)

- 教員の任用に関する意見検討
- 授業参観の感想・意見交換

第7回学校運営協議会 10月21日(水)

- CS研修会・質疑応答
- 学校経営計画実施状況について
- 学校運営協議会保護者対象アンケート内容の検討
- 管理職の人事に関する意見検討

第8回学校運営協議会 11月25日(水)

- 70周年記念事業について
- 教育調査について
- 学校運営協議会アンケートについて

第9回学校運営協議会 12月23日(水)

- 70周年記念事業について
- 教育調査について
- 学校運営協議会アンケートについて
- 学校運営協議会便りの編集計画について
- 児童の健康について
- 教員の働き方状況について

【2021年】

第10回学校運営協議会 1月23日(土)

- 70周年記念事業について
- 授業参観
- 教育調査(結果・分析・考察)
- 関係者評価
- CSアンケート(結果・分析)
- CS委員会便りについて
- 児童館・プラザ・居場所事業等と学校への影響

第11回学校運営協議会 2月24日(水)

- 学校内評価の結果と考察
- 令和3年度 教育課程の承認
- 70周年記念事業について
- CSアンケート(結果・分析)

第12回学校運営協議会 3月17日(水)

- 令和3年度 教育経営方針の承認について
- CS委員会の反省と次年度の計画

教職員との懇談会

8月21日

昨年に引き続き、教職員方々と懇談会を開催しました。井荻小の子どもたちや地域についてなど、ワークショップ形式で意見交換し貴重な時間となりました。

その中の一部をご紹介します。

「井荻小の子供の良いところ」

- ・上級生が下級生を見守り、声をかけ、新しい生活様式を教えている。
- ・何事もやってみようとする気があり一生懸命。
- ・物事に純朴に反応し感動をくれる。
- ・自然に親しみ、川について知識が豊富で、その自然に誇りを持っている。
- ・穏やかで人が好き。この気持ちは地域、学校が育てている。
- ・素直(喜び、悲しみ、驚き、「びっくり!」「なるほど!」など気持ちをことばで表現できるのはいろいろな経験をしているから)
- ・大人にたくさん話をしたい子が多いのは先生たちとの交流が盛んだからでは?

「マイナス面は?」

- ・場を察する力が弱い。小学校中学年で身につけてほしい。
- ・集団になると周りに流されやすい。
- ・人(他人や親)任せになりやすい。

◎さまざまな経験や指導の積み重ねが大事

「地域、学校お互いに期待すること」

- ・井荻小の特色である、環境学習を柱に地域の自然の中で子供を育てていきたい。
- ・教職員は変わるが支援本部は変わらないため、準備進行をほぼ頼ってしまっている。

「保護者への期待」

- ・ほっとほっとタイムを利用したり、地域のお祭りへの参加などで地域・親同士のつながりへのきっかけにしてほしい。
- ・あいさつによって子供たちを知っている地域の人を増やし、それによって地域の人の子供の見守りをしてくれるようになる。
- ◎保護者が学校をよりよいものにするために求めていることを知り、尽力していきたい

「先生への期待」

- ・先生方には、子供たちの学校以外での地域の行事などのようすを知ってほしい、見てほしい。学校では見せない姿で生き生きと活動している。
- ・昨今の先生は子供との関わり以外の業務が増えて忙しい。働き方改革をして先生たちが働きやすい働き方をしていってほしい。そして先生の経験を生かせる活動を増やしていければよいのではないか。



研修(講演会)

10月21日

「コミュニティ・スクール(CS)の進め方」

講師：井上尚子氏(文部科学省CSマイスター)

事例を交えてわかりやすくコミュニティ・スクールの進め方についてのお話を伺いました。より良い運営のための即、実行できるヒントをたくさんいただきました。まず自立した運営を行うことが必要。司会、記録、事務等を委員で分担し学校に負担をかけないように活動します。それから、日々学校に行くことが大切です。そのためには、学校公開に出向いたり、行事や研究授業の見学をします。校舎の隅々まで見たり、掲示板などでいろいろな情報を得ることができます。学校のお手伝いをする事で、先生方とコミュニケーションをとることができます。CSの活動のPTAへの周知するためには、学校だよりに会議の内容を載せてもらうこともひとつの方法です。委員の交代の際は、数名ずつ入れ替えさまざまな分野の方々での協議会になるようにしていくと会議の充実を図れます。町会との繋がりのために町会の役員会に協議会として出向き活動の報告とご意見を伺うなどでより強い地域との関係が築けていきます。この1年、今まで通りの学校行事を行うことができませんでしたが、先生方の活動方法の工夫により子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。これまでのやり方にとらわれずにより良い井荻小になるために協働活動を続けて行こうと思います。



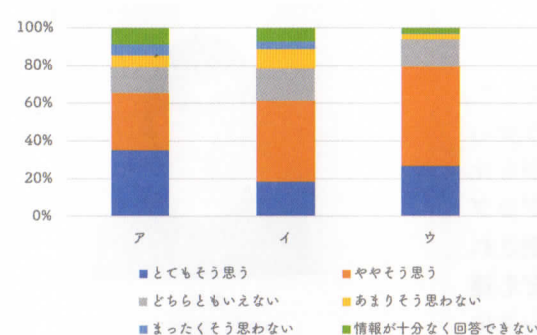
井荻小学校の学校運営協議会が発足して2年経過し、初めてのアンケート調査を実施いたしました。今回は対象を全保護者の皆さんに限って実施し、266件の回答を得ることができました。お忙しい中、本当にご協力に感謝いたします。

設問1は以下のア～エの地域運営学校になったこと、その情報が伝えられているかに関する質問でした。

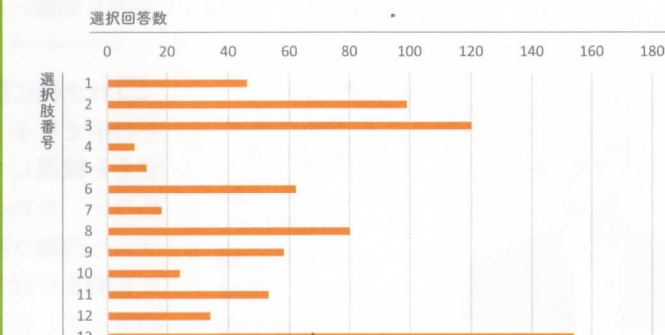
- ア 井荻小学校が地域運営学校であることを知っている
- イ 学校運営協議会便りや学校からの情報で、地域運営学校を支える学校運営協議会の活動を知っている
- ウ 井荻小学校の子どもの教育に、学校、家庭、地域が各々の役割を適切に果たしている
- エ 学校から保護者へ適切に情報発信されている

集計結果は【グラフ1】です。ア、イの結果から、2割程度の保護者の皆さんに地域運営学校や学校運営協議会が未だ浸透していないと読み取れます。学校運営協議会からの一層の情報発信が必要であると感じています。

【グラフ1】設問1・回答割合



【グラフ2】設問2・選択回答数



学校運営協議会でどのような事項が話し合われているか、保護者の皆さんにはこれまで1回の学校運営協議会のパンフレットでお伝えしただけでした。改めてどのような項目が主に話し合われているか、一覧にして示しました(以下の1~13です)。全体を理解していただいた上で、設問2で保護者の皆さんが特に関心を持たれる3項目を選んでもらいました。

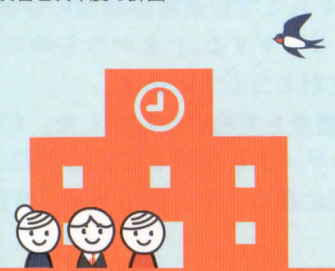
- 1 校長の学校経営計画(教育目標や学校経営方針)について検討し承認する。
- 2 校長の学校運営計画(教育目標を達成するための具体的な指導内容や組織運営等)について検討し承認する。
- 3 学校施設・設備の整備状況の説明を受け、安全点検を実施し方針を協議する。
- 4 学校予算についての説明に基づいて協議する。
- 5 PTAとの連携を図るためにPTA役員との懇談会を実施する。
- 6 井荻小学校の教育の現状をより深く理解するため、教職員との懇談会を実施する。
- 7 管理職や教員の任用に関して意見を述べる。
- 8 「学力調査」の結果を確認し、学力向上の改善方針を協議する。
- 9 「体力調査」の結果を確認し、健康や体力増進、保健等について改善方針を協議する。
- 10 杉並区教育委員会「教育調査」(対象:保護者、5.6年生児童、教職員)アンケートの集計結果を協議する。
- 11 次年度の「教育課程」案(教育目標、指導の重点、授業日数・時間数、年間行事予定など)について、検討し承認する。
- 12 井荻小学校の教職員が実施する「学校評価」を基に意見交換する。
- 13 学級経営や生活指導の現状及び各学級の児童の様子について意見交換する。

結果は【グラフ2】のようになりました。関心の高い順に13,3,2,8,...となっています。一方他の項目にも一定の回答があり、保護者の皆さんの関心の広がりが見られます。グラフ2ではわからないですが、学年毎の集計では学年進行に従って関心項目の傾向が変化していました。

最後の自由記述欄にも40件以上のコメント回答をいただきました。自由記述に寄せられたものには、「学校運営協議会が、何を、何が進んでいるのか、もう少し中身が見えると良い」「議事等をWebにあげたり、ホームページを活用して情報発信してほしい」など情報提供に関するものが多くありました。

そして、「学校の課題をオープンにし、改善に取り組むことで、余裕をもって先生方が子供達に接することができるよう協力したい」「第三者の目で学校を見る大事な組織なので広く保護者からの意見や困りごとを収集してほしい」などの要望もありました。また学校への要望に関するものもあり、学校に検討を依頼しました。

さらに、次のような多くの感謝の記述が数多くありました。「子供の教育に地域の方々が多く関わってサポートしてくださっているのはとてもありがたい」「授業や子供達が楽しく参加している活動に、地域の皆様の協力がとても素晴らしく感謝の気持ちでいっぱいです」等です。また学校にも「井荻小は情報を隠さずいい学校だと思う」「先生や子供達の雰囲気温かく、子供達が確実に成長していて嬉しいです」などの声が寄せられ、本協議会や学校の更なる活発な活動を推進していく大きなエネルギーになりました。





会長職務代理
田中 奈那子

1期を無事終え、2期目を迎えることになりました。昨年からは新型コロナウイルス感染者拡大のため、学校行事も思うようにできず歯がゆい思いを重ねた一年でした。その中でもCSとして教職員との懇談会、委員研修、CSアンケート等行うことが出来ました。これからはどんな時代になるのか人生100年時代、AIの劇的な発展、コロナ禍等等、社会変化の中で、多様性を認めお互いを気使い、支え合いながら新しい生活様式を作り出すことが求められています。子どもたちもコロナに振り回されながら頑張っています。その子どもたちのため

に学校、家庭、地域で連携し何が大切で何が必要かを考える時なのかもしれません。今年度、井荻小は70周年を迎えます。CSとして校長先生を中心により良い学校運営ができますように委員として自己研鑽しチームワーク良く活動していきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。



委員
山中 由也

その後のことを考えると、井荻小の教育を支援すべき学校運営協議会の責務も重くなったと感じています。

集まり一緒に過ごす中で勉強し、成長する場である小学校においても、様々な制約下の教育活動という予想しない一年でした。まだしばらく続くこうした状況、またいろいろなことが変わるであろう



委員
二村 好彦

今年度は井荻小周年行事の年。学校、地域、OBが一致団結して、それぞれの立場を理解し、助け合って井荻小の力を発揮しましょう。

私の田舎（信州）では各地域とも季節の祭りがあります。祭りは地域の人々がひとつになって協力します。その力は防災、震災等あった時の訓練でもあるのです。又、教育的な場面でも地域全員で"心をひとつ"に協力し助け合う精神が生まれるからです。小生も微力ながら役割をはたせればと思っています。

コロナ禍に翻弄された一年でした。その中でも子どもの命をまもり安心安全を確保して「子どもの学びを止めない」ための工夫や新たなプログラムへの取り組み、活動を規制されても明るく元気に挨拶する子ども達のたくましさ、ピンチをチャンスに変えていく力、正しく恐れて行動できる人間になるには教育は重要など、得ることも多い年でした。



委員
岩淵 晴子



委員
中谷 理彩子

世界中が非常事態となる中、今年度は始まりました。人々は価値観や思考のあり方に向き合い、それらが大きく変わったと感じます。それと同時に、子ども達にとって小学校生活が如何に貴重なものであるかと改めて思う年でした。今後更に経験の場をつくり、井荻の特色を活かしたサポートしていけたらと思います（手探りとはなりますが…）。



委員
澤地 さちえ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、子ども達の学校生活は大きく変わってしまいました。

このような世情の中でも、子ども達が安心して健やかに成長出来るように、地域にいる者として、出来る事をさせて頂きたいと思えます。



委員
稲富 太志

今年度はコロナ騒ぎで何かと大変な1年でした。

しかしながら、そのような時世においても、学校運営委員会が果たす役割を再認識できた1年でもありました。

本年度も自身と周囲の健康維持に気を抜けない情勢ではありますが、昨年度同様、微力ながらお手伝い出来るよう、努めて参ります。



委員
会田 洋子

先生との懇談会で、井荻小の特色である環境学習を大切にしたいとお聞きしました。

子どもたちは、野鳥の名前をたくさん知っています。川の生き物の名前も知っています。その自然を守るために何をすべきかも、知っています。わたしも知識を持ち、先生方とも子どもたちとも環境について話せるようになっていきたいです。



委員
岩崎 路子

今年度学校行事が例年通り行われないうコロナ禍で、委員が体調を崩す事無く会議が出来、良かったと思います。

在校生保護者としては学校公開が減った中、毎月学校や子供の様子が聞けて嬉しかったです。

来年度も元通りに行かないとは思いますが、少しでも学校のお手伝い出来るよう努めさせていただきます。